

第66回材料学会学術講演会 参加報告

修士課程1年 井田雄太

2017年5月26日～28日に愛知県、名城大学天白キャンパスで行われた第66回材料学会学術講演会に参加しました。OSは全部で11あり、私は28日に行われたOS7の生体・医療材用・福祉材料のセッションで参加・発表いたしました。興味深い研究内容が多く、他の研究グループの発表も楽しんで聞かせていただきました。また研究の動向も知ることができ大変有意義でした。

10分発表、5分質疑応答の形式で行われ、私は「加熱・冷却速度を変化させた2通りの熱刺激が骨芽細胞の分化に及ぼす影響」の題で発表しました。小心者なので、発表前まで、手が震えるほど緊張しましたが、嘔みながらも無事発表することができました。質疑応答では、多くの方に質問・ご指摘をいただき、活発な議論ができたのではないかと思います。

OS後の部門委員会では先日行われた第1回生体・医療材料シンポジウムでの発表が優秀講演賞に選ばれ、立派な盾と賞状をいただきました。小茂鳥先生をはじめ多くの方々にご協力いただきこのような賞を頂きました、ありがとうございます。今後も研究に精進していこうと思います。



名城大学天白キャンパス入口



受付前の看板



会場の案内



生体・医療材料シンポジウムでの賞状と盾